

Dataverse for Teams環境のデータフローについて



奇想天外ビリビリ☆Power Apps同好会

2025/02/11 Kohhey

自己紹介

Kohhey

2001年1月24日生まれ

X : @koh_of_yama

Blog : <https://kohhey-memo.hatenablog.com/>

- ・Power Apps もくもく系コミュニティおうじゃさんといっしょ の常連
- ・昨年12月よりブログ投稿開始

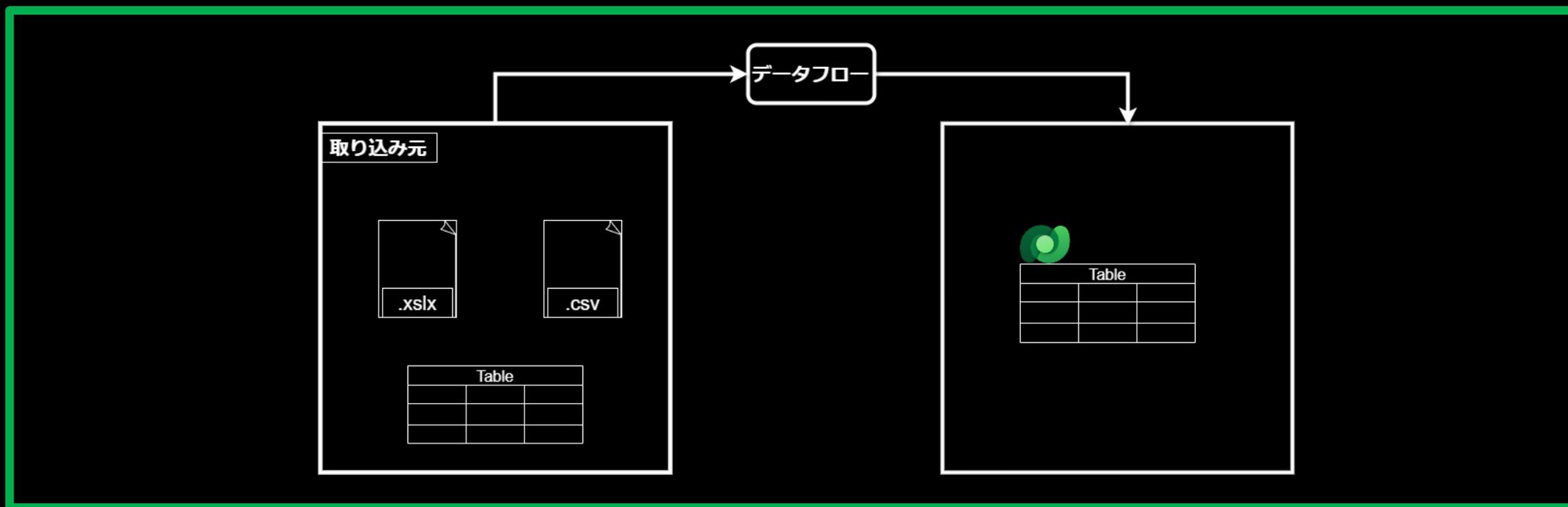


データフローとは？

データの取り込み、変換、読み込みを行うためのツールのこと。

様々なデータソースから取得したデータをPower Queryで変換し、テーブルに読み込む。

イメージ図



データフローの利点

- ・件数が多いデータ登録

一括で登録処理が実行され、手間がかからない。データ量の制約が厳しくない。

(経験則では1万件でも大丈夫)

[※大規模の場合はDataverse環境を推奨との記載あり](#)

- ・一元管理

別のDBやShare Pointリスト、Excelテーブル等異なるデータソースのデータを統合することが可能。

- ・データの変換・修正

Power Queryを使用するので、データの変換・修正が容易になる。

データフロー(Dataverse for Teams)を活用した事例

- ・別システムとの連携

csv形式でデータを出力する機能があり、出力されたデータを登録して運用する。

- ・業務効率化の一環

Excelのみで運用されていた業務をDX化するアプリを納品する過程で、既存データを登録しリリース。

しかし、サポートされていない機能も…

※個人的に困った部分に焦点を当てます。

① 定期実行

Dataverse for Teamsのデータフローでは、定期実行を設定できる項目がない。



↑ Dataverse for Teamsで作成したデータフローの設定項目

Learnの記載は以下の通り。

ここで、次のことを行うことができます。

- 変換ロジックまたはマッピングを変更する場合は、データフローを**編集**します。
- データフローの**名前を変更**します。作成時に、自動生成された名前が割り当てられます。
- データフローを**更新**します。データフローを更新すると、データが更新されます。
- データフローを**削除**します。
- **更新履歴を表示**します。これにより、前回の更新の結果がわかります。

[Microsoft Teams でデータフローを作成して使用する - Power Query | Microsoft Learn](#)

三 + 新しいデータフロー | - + データレイクへの新しいリンク

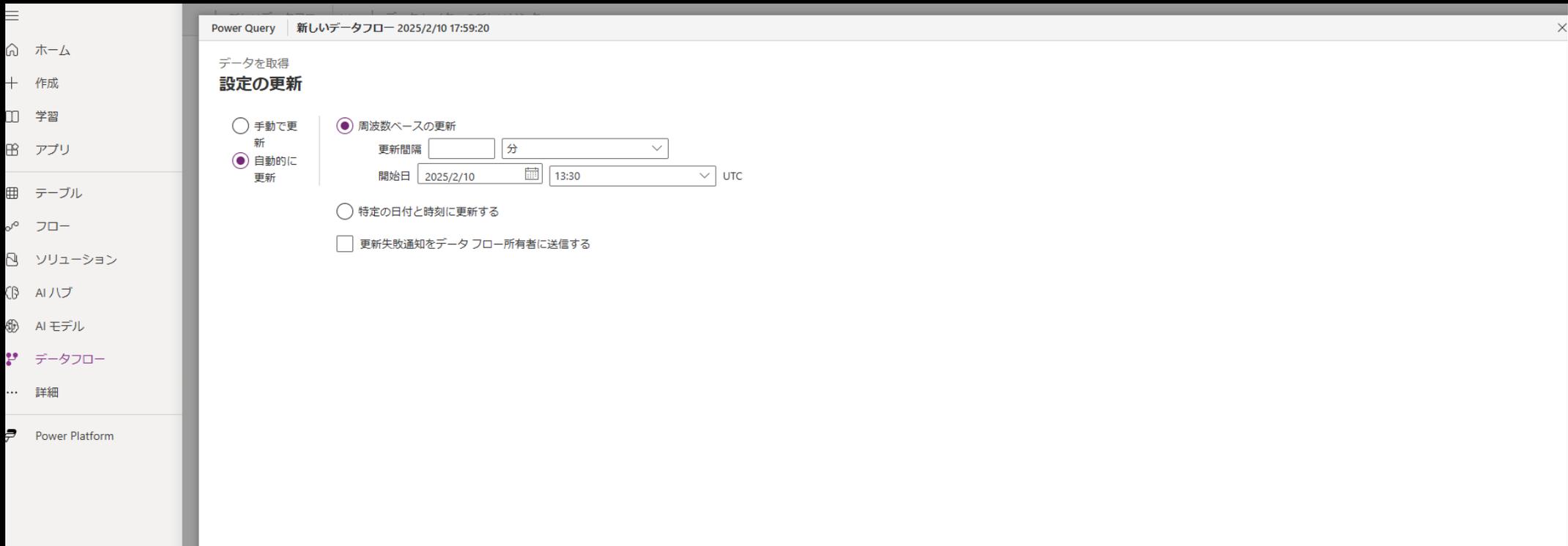
データフロー

自分のデータフロー | すべてのデータフロー

名前	型 ①	下書き状態 ①	最終発行	最終更新	次の更新
test	...	Standard V2	未発行	該当なし	該当なし
新しいデータフロー 2025/2/10 17:59:20	...	Standard V2	未発行	該当なし	該当なし

- 編集
- 名前の変更
- 更新設定を編集する**
- 更新履歴の表示
- 削除
- 増分更新の編集
- コピーの作成

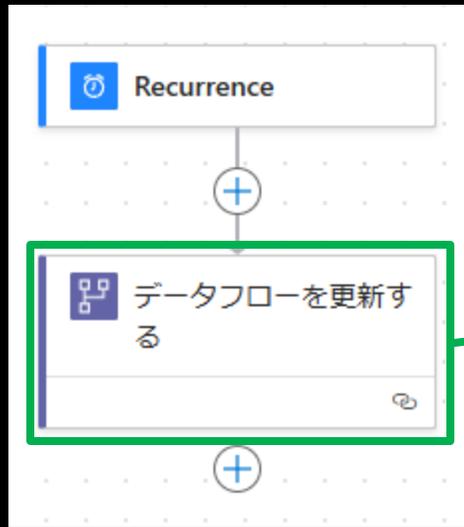
↑ Dataverseで作成したデータフローの設定項目



↑ Dataverseで作成したデータフローの定期実行設定画面

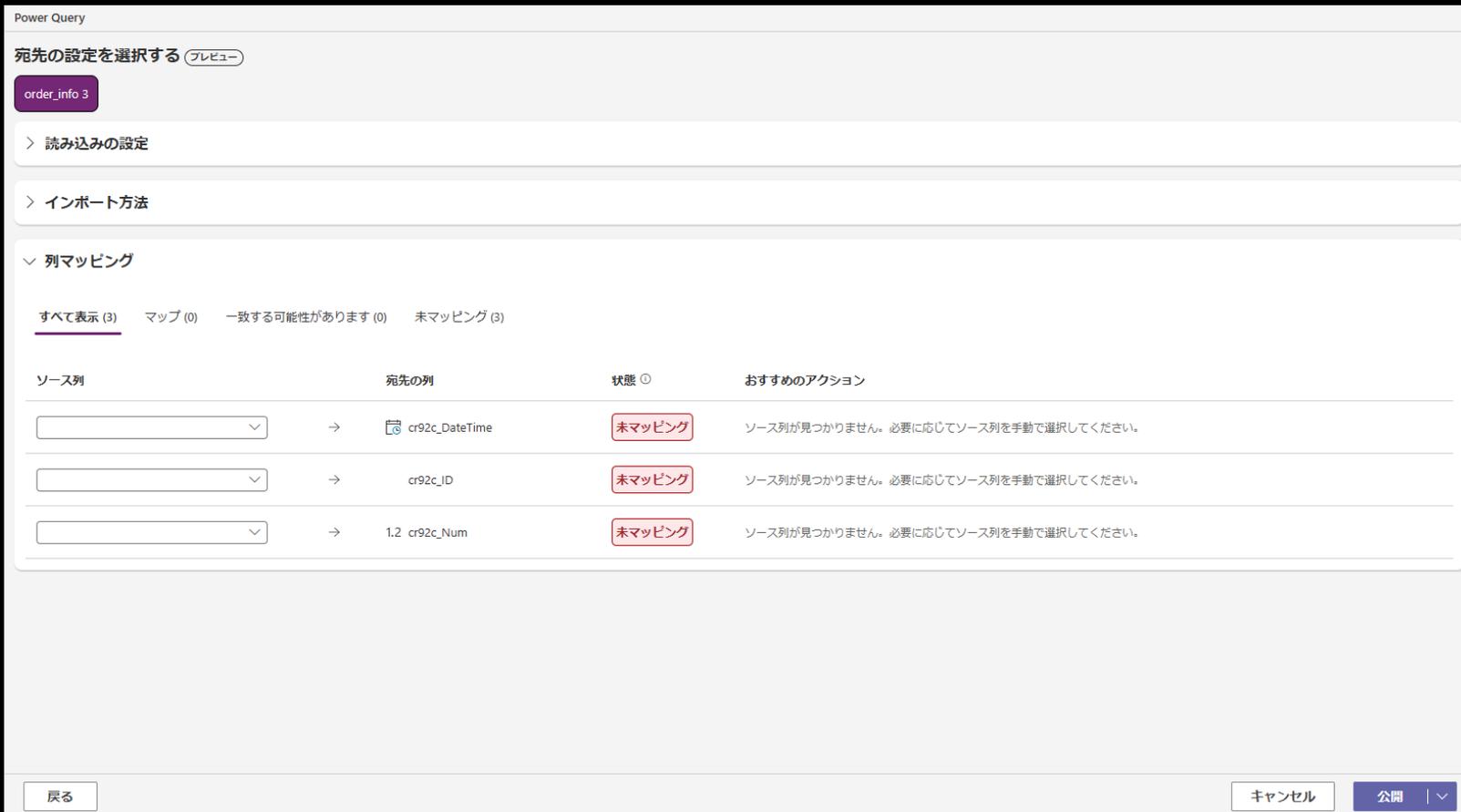
① 定期実行を実現するTips

Power Automateで定期実行をトリガーにしたクラウドフローを作成する。



② 検索列の一括登録

列マッピングに検索列は出てこない。

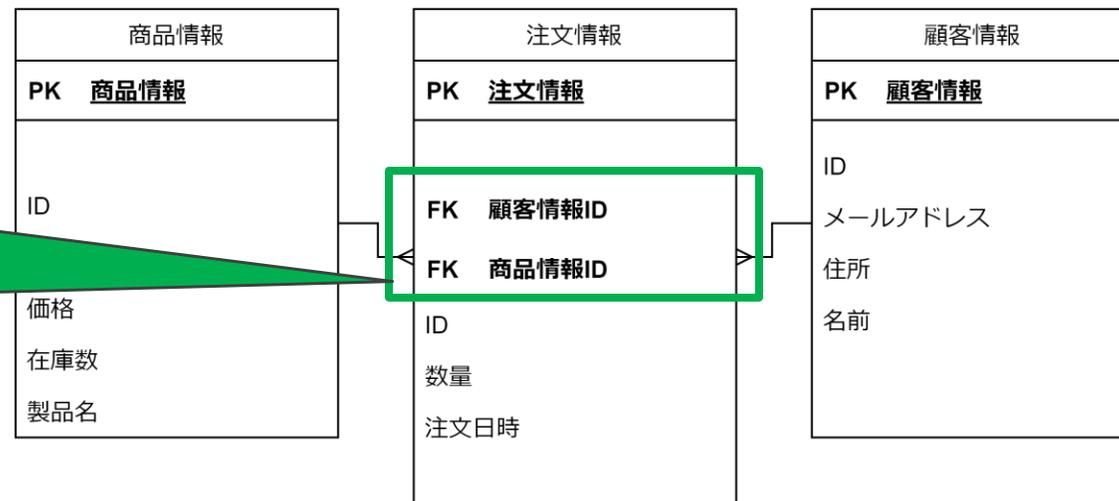


The screenshot shows the 'Power Query' window with the 'Column Mapping' section expanded. It displays a table with three rows, each representing a source column that has not been mapped to a destination column. The status for each is '未マッピング' (Not Mapped).

ソース列	宛先の列	状態 ^①	おすすめのアクション
<input type="text"/>	→ cr92c_DateTime	未マッピング	ソース列が見つかりません。必要に応じてソース列を手動で選択してください。
<input type="text"/>	→ cr92c_ID	未マッピング	ソース列が見つかりません。必要に応じてソース列を手動で選択してください。
<input type="text"/>	→ 1.2 cr92c_Num	未マッピング	ソース列が見つかりません。必要に応じてソース列を手動で選択してください。

At the bottom of the window, there are buttons for '戻る' (Back), 'キャンセル' (Cancel), and '公開' (Publish).

検索列も一括で登録したい



② 検索列の一括登録を実現するTips

Power Automateでクラウドフローを作成し登録する。



※データ件数が多い場合、スロットリングやアクション数が多くなるので注意が必要

まとめ

- まとまったデータを一括で登録する場合、非常に利便性が高いツールといえる。
- Dataverse for Teamsの場合はM365ライセンスがあれば利用可能、GUIベースの操作が多く参入障壁が低い。
- サポートされていない機能もあるので、場合によってはPower Automateでクラウドフローを作成するなどの工夫が必要となる。